

2010年企画のポイント

地方独立行政法人
東京都立産業技術研究センター 嶋 明

■生活者と市場

世界的な景気の低迷により、需要や消費のハードルが極めて高くなっています。そのため市場の組み立てには、生活防衛型の節約感や安定消費への理解が必要となります。下記のような生活者意識が出現します。

- ・ 出費を抑えた身の丈消費。
- ・ 物質所有型から体験意欲型へ転換。
- ・ 伝統、正統、保守型志向の見直し。
- ・ 潤い、癒し、穏やか、安心、安全。
- ・ 未来に繋がる夢の想定を目指す。
- ・ 培われた審美眼による生活価値の検証。
- ・ 文化やアート志向の導入。
- ・ エコロジー意識の確立。

生活のなかには、効率的な耐乏生活への意識と、ポジティブに明るく楽しく生きようとする2極の意識があります。低迷する現状では、とりあえず物質的な充足感を先送りする。だが、感覚で生活を豊かにするような「プライス・レス意識」には大きく反応します。「プライス・レス意識」とは「値段の付けられないもの」という意味です。例えば、展覧会に出かけて感動したり、憧れていたものに接して心を揺さぶられるなどです。その表れとして最近では度々「日本の美意識や文化芸術の再発見」、「憧れのライフスタイル」…が特集されています。また「時代のリーダー」も、業界中心型から長年こだわりを持ち続けた人達に注目が集まっています。こだわりを持って生きる

先駆者を生活ナビゲーターとして認識し、彼らが長年培ってきた「ものごと」への審美眼や技量を活用させてもらうことで、好景気時と変わらないタイトな生活のクオリティ感を保つという意識です。

従って市場の仕掛けでも、同様のナビゲーター的補佐感覚が必要となっています。



資料1) 日本の財産：阿修羅展



資料2) 日本再発見：富士山 出雲大社



資料3) 日本の祭り：鹿踊り 阿波踊り

■今後のファッション傾向

世界的な景気後退の影響が出ています。そのため提案されるテイストもすっきりしたものが多くなっています。

●スタイリング

低迷する景気を反映して、前シーズン傾向を継続する仕掛けが多くなっています。

・全体では、しなやかで着易いこと、適度なゆったり感などが前提となります。また、ソフト⇔ハードのフォルムを重視した二方向の要素が共存していますが、ややソフトな表現へ移行しています。

・身体や服のフォルムを感じさせるコントラスト効果が求められます。ロング⇔ショート、フル⇔フィットなどの組み合わせから、シルエットはジャスト・ウエストが重要になります。

・注目は、1980年代のパットで肩を強調したパワー・ジャケット風の彫刻的なフォルム。また1980年代スタイルにアウトドアやスポーティ要素、ロマンティック・ボヘミアンや民俗柄などがミックスされたものも出現します。この他、1950年代の女性進出がイメージの組み立てとして用いられます。単品コーディネートが重要ですが、シンプルな上下揃えスーティングスタイルも台頭します。

●色彩

・全体の流れでは、2009年の力強さや活気のある使い方から、2010年には徐々に穏やかなものへと移行しています。

・黒を基調とした組み立てが多用されています。またダーク系を中心としたチャコール、ネイビー、グリーン、ボルドーなども黒の代用色として重要です。

・オリーブやカーキもエコロジー・カラーとして台頭します。

・合わせの色は、グレー、ベージュ、スモーキー・ブルーなどが用いられます。

・アクセント・カラーは、黒やダーク系に合わせるショッキングピンクやレッド、イエロー、コバルトブルーなどが重要です。

・配色は、単色使いや2色効果でモダンなコントラストの組み立てと、対極にある曖昧なカマイユ配色があります。

●衣服素材

・秋冬では、ツイーディな縮絨^{しゆくじゅう}素材からフラノなどのウール素材が中心です。また、ラメ混やジャカード、柔らかなベルベット、ファイユ、光沢サテン、シルクジャージー、柔らかなシフォンなどが用いられます。

・春夏では、ライト感覚、透明感、しなやかな流動感、光沢感などの素材が採り上げられます。

・全体傾向では、ワン・アイテムに2～3種の素材が切り替えて用いられ、取り扱いに注意が必要となります。

●アクセサリー

・大ぶりのネックレスが注目されます。シンプル、クリーンなスタイルが台頭していることを受け、ネックラインのトップにボリュームのあるネックレスが活用されています。ただし、高価なものではなく、チープ感覚をコーディネートやスタイリングに合わせ楽しむ感覚です。



資料4) アクセサリー

・太目のバンゲルも注目です。複数重ねて使用されますが、ネックレス同様、チープな組み立てとなっています。



資料5) バンゲル

●グッズ

・ベルトが台頭します。フォルム・コントラストが注目されるため、ウエストをマークする（締め付ける感覚）重要アイテムとなっています。付け方は様々ですが1980年代を意識してジャケットの上からベルトをしたり、1950年代風にボタンを留めないカーディガンの上からベルトをするガーリッシュスタイルなどに用いられます。

細い革のシンプルタイプからコルセット状の硬い幅広のもの。リボン状からビーズアクセサリーまで多用されます。またベルト・ポーチも徐々にカムバックしています。



資料6) ウエストマークとベルト

●バッグ&シューズ

高額商品の売り上げが落ち込んでいます。そのためトレンドは「トラディショナル

ル感」や「使いやすさ」などの、気負わずに履ける靴、気軽に持てるバッグが主流になっています。ただし、靴やバッグは個人のファッションセンス表現だけではなく、生活のレベルを表す大切なポイントとしても認識されています。安易に見えない仕掛けが必要です。

・色彩は、靴、バッグともに黒が注目されます。ただし黒の装いが増えることを見越して、コントラストを与えるショッキングピンクやレッド、イエローの活用もあります。

・バッグは、大きめのトートバッグやスタッチェル、クラッチ・バッグ、ショルダー・バッグ、ポシェットなど、様々なスタイル・バッグが登場しています。

特に大きめのクラッチ・バッグが注目です。従来のサイズを大きくし、柔らかな素材で手持ちし易くしたもの。またショルダー・ストラップを付け、ストリートでもドレスアップでも活用範囲を大きく意識したのになっています。



資料7) 大き目のクラッチ・バッグ

その他では、斜めがけバッグが注目です。実用的なメッセンジャー・バッグもありますが、両手をフリーにする実用性でカジュアルスタイルに注目されています。またキャンバスなどの布地バッグ。チェーン・ストラップのクラシック・バッグなども多

く出現しています。



資料8) 斜めかけバッグ



資料9) 提案バッグ

・シューズは、ウエストマークのコントラスト感に合わせるため、またシンプルな組

み立てが多くなる分、装いのアクセントとして靴のアクセサリ感が望まれます。ソフトなドレスアップ感が必要となっています。

素材はスウェードが主流ですが、パイソン（蛇柄）も注目されます。クロコダイルやアリゲーターの高級感やメタリック・パイソン、ミラーパテント（エナメル）などの光沢感。刺繍やクリスタル&ビーズ使いなどが用いられます。

ヒールは、ファッション性より履き易さを追求するフラット・ヒールやロー・ヒール、太めのヒールやストラップが増加しています。特に、実感的な疲れにくさや歩きやすさ、スタイルの見栄えなどからウェッジ・ソール系の厚いハイヒールが継続的に魅力を発しています。

この他、ブーツ、アンクルブーツなど、クール・ミニ感覚に合わせた強さが求められます。



資料10) シューズ

●イメージ提案

現代的な都市生活を基準に、プラスアルファのイメージが組み合わせられます。そして「自分探し」を行うための自在なルックス・メイキングが重要となります。柄使いも併せて解説します。

①自然感覚：現代的なストレスを緩和し回避するために、自然と寄り添うイメージで



資料11) 提案シューズ



資料12) 提案シューズ

す。自然界にある様々な柄域を用いて、ぼやけや不鮮明・不規則、地色に溶け込ませるような表現。色褪せた着古し感や腐食した効果、しわや縮みなどのミックス感で表現されます。

②未来感覚：モダンでクリーンなテクニカル表現で未来型を演出するライフスタイルです。ラボラトリー（実験室）、メディカル（医療関連）、クリニカル（医学的）、コスメティック（化粧品）的なイメージの組み立てで、自然感覚とは相反した位置を形成します。

③民族感覚：グローバル化に対するローカル価値の見直しです。色落ち感やアーシーな色使いを用いた、中南米のフォークロア調に題材を得た仕掛けです。熱帯雨林や砂漠のなかで逞しく生きるエネルギーが創造の源として活用されます。

④官能感覚：1980年代の造形美やベルエポックの曲線的なシルエット、マスキュリン&フェミニンなイメージコントラストに用いられます。光と闇の陰影や新鮮さから成熟・円熟までの妖艶さが、濃厚なプリミティブ感覚でモダンにイメージされます。

⑤懐古感覚：1950年代の初々しい女性の社会進出をソフトなレトロ・エレガンスで加工したスタイル。アメリカンドリームが持つハッピー・カジュアルやスイート・ベーシックが構成されます。

■2010年社会動向

次ページは2010年に予定されている社会動向です。

2010年の動向

			
ユビキタス実現年 いつでもどこでも誰でも・ネット	日本トルコ観光交流年 国旗 国章：外務省	日台観光交流年 青天白日旗：外務省	日本印度交流拡大年 相互交流人口30万人：外務省
			
上海万博 5月1日～10月31日：中国	第21回冬季オリンピック 2月12～28日：バンクーバー	FIFAワールドカップ 6月11日～7月11日：南アフリカ	ユースオリンピック 8月14日～26日：シンガポール
			
バスケットボール世界選手権 8月16日～：トルコ	NHK大河ドラマ：龍馬伝 福山雅治	映画：ノルウェーの森 村上春樹	ポッティチェリ没後500年 1510年5月17日：画家
			
ベラスケス没後350周年 1660年8月6日：画家	ベートーベン生誕240周年 1770年12月16日頃：音楽家	ショパン生誕200周年 1810年3月1日：音楽家	シューマン生誕200年 1810年6月8日：音楽家
			
チエホフ生誕150年 1860年1月29日：作家	ロダン生誕170年 1840年11月12日：彫刻家	ボブ・マーリー生誕65周年 1945年2月6日：レゲエ	ビートルズ解散40周年 1970年4月10日